

有明工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語
科目基礎情報						
科目番号	0040		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	Steady Steps - Upgrading Grammar Skills for Better Reading and Writing -					
担当教員	三戸 健司					
到達目標						
到達目標 1. 予習復習に加えて、自分の興味をもった内容を深めて英語学習を継続的に行う習慣が身に付いている。 2. 教材と同レベルかそれ以上の英文を読んで、内容を十分理解することができる。 3. 教材の中で用いられている重要文法事項に関連事項も含めて身に付けており、英作文などに応用できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	予習復習に加えて、自分の興味をもった内容を深めて英語学習を継続的に行う習慣を身に付けることができる。		予習復習をすることで、着実な英語学習習慣を身に付けることができる。		十分に予習復習を行わず、着実な英語学習習慣を身に付けることができない。	
評価項目2	教材と同レベルかそれ以上の英文を読んで、内容を英語で説明することができる。		教材と同レベルかそれ以上の英文を読んで、内容を英語で説明することができる。		教材と同レベルの英文を読んで、内容を日本語でも説明することができない。	
評価項目3	教材の中で用いられている重要文法事項に関連事項も含めて身に付けており、英作文や英会話に応用できる。		教材の中で用いられている重要文法事項を身に付け、英作文に応用できる。		教材の中で用いられている重要文法事項を身に付けていない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 A-3						
教育方法等						
概要	この授業は、英語の「読み」・「書き」・「話す」・「聞く」の4つの技能の中の「読み」の能力の養成に重点が置かれる。そのためには語彙力強化が不可欠であることは大前提である。英語で書かれた文章を速く正確に理解することは、今日のグローバル化時代の国際社会人として要求される能力となっている。英語のこの分野の能力は英語の実践的な運用能力を測る指標としての TOEIC の試験で試される技能の1つでもある。この授業では、1月に校内で実施される TOEIC の試験の Reading Section のスコアを伸ばすことができるように、英文を速く正確に読むためのスキルを学生に習得させ、同時に語彙力の増強を図る。また、TOEIC 試験の Reading Section の出題形式に準じた練習問題を実際に解いていく過程で、学生の全体的な英語運用能力を高めることも目標としている。					
授業の進め方・方法	講義と発表を中心に進めていく。					
注意点	評価方法:各定期試験の成績 80%、レポート・ノート等の提出物や小テストの成績 20%の比率で評価 評価基準:60 点					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	文の要素と基本 5 文型		文の要素と基本 5 文型について理解できる。	
		2週	文の要素と基本 5 文型		文の要素と基本 5 文型について理解できる。	
		3週	動詞の種類		動詞の種類について理解できる。	
		4週	動詞の種類		動詞の種類について理解できる。	
		5週	動詞の時制		動詞の時制について理解できる。	
		6週	動詞の時制		動詞の時制について理解できる。	
		7週	助動詞		助動詞について理解できる。	
		8週	助動詞		助動詞について理解できる。	
	2ndQ	9週	名詞		名詞について理解できる。	
		10週	名詞		名詞について理解できる。	
		11週	代名詞		代名詞について理解できる。	
		12週	代名詞		代名詞について理解できる。	
		13週	冠詞		冠詞について理解できる。	
		14週	冠詞		冠詞について理解できる。	
		15週	期末試験			
		16週	テスト返却と解説			
後期	3rdQ	1週	不定詞		不定詞について理解できる。	
		2週	不定詞		不定詞について理解できる。	
		3週	分詞		分詞について理解できる。	
		4週	分詞		分詞について理解できる。	
		5週	動名詞		動名詞について理解できる。	
		6週	動名詞		動名詞について理解できる。	
		7週	接続詞		接続詞について理解できる。	
		8週	関係詞		関係詞について理解できる。	
	4thQ	9週	関係詞		関係詞について理解できる。	
		10週	前置詞		前置詞と節について理解できる。	
		11週	比較		比較について理解できる。	
		12週	比較		比較について理解できる。	

		13週	条件文と仮定法	条件文と仮定法について理解できる。
		14週	条件文と仮定法	条件文と仮定法について理解できる。
		15週	期末試験	
		16週	テスト返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0